

2025 年 7 月 4 日

ミャンマービジネスサポートデスク 西垣 充

トランプ大統領、ミャンマーから米国への入国を禁止

トランプ大統領は、ミャンマー他 12 か国から米国への入国を禁止する大統領令に署名しました(6 月 9 日から適用)。該当国は、アフガニスタン、イエメン、イラン、エリトリア、チャド、コンゴ共和国、スーダン、ギニア、ソマリア、ハイチ、リビア、ミャンマー。Burmese American Community Institute (BACI) の推計によれば、2023 年 8 月時点で、アメリカに居住するミャンマー系住民の総数は約 32 万 2,000 人に達していると言われており、米国内に居住するミャンマーの人々の中で不安が広がっています。

日本向けの海外労働許可証(OWIC)の発給状況について

OWIC(Overseas Worker Identification Card)は、ミャンマー政府が海外で働く自国民に対して発行する海外労働許可証で、一般的には「スマートカード」とも呼ばれています。このカードは、ミャンマー人労働者が海外で不当な扱いを受けることのないよう、労働者の権利や対処法に関する一定の講習を受講した後に発給される仕組みとなっています。ただし、この講習はすべての海外労働者を一律に対象としており、実際には実用的というよりも形式的な出国許可手続きの一環として取得されているのが現状です。

今年 1 月 30 日以降、OWIC の発給が著しく制限されている中、日本向けについては 4 月 2 日～7 月 3 日までの間に 790 名(女性のみ)に発給がなされたと発表されています。(参照:右表)

2 月末までに OWIC を申請した人数は MOEAA(ミャンマー海外職業紹介協会)がまとめたリストによると男女合わせて 16,932 人でした。現在は、1 月 30 日以前に申請したものを中心に発給されているようで、2 月 1 日以降の申請分が発給されるのは相当数の時間がかかることが予想されます。

最近では総選挙に向けての影響なども噂されるなど、混乱が続いています。

なお、年内にも実施されると言われている「総選挙」は、12 月第 3 週から来年 1 月の第 2 週に終わるとも言われており、開催日についてはまだ発表されていませんが、これに合わせて実施される可能性が高そうです。一部メディアでは、小選挙区制と比例代表制を使って実施されると報道されており、今後より詳細な内容が発表されてくると思われます。

日付	女性(人)
4月2日	130
5月3日	130
5月21日	50
5月23日	50
5月28日	93
6月4日	122
6月18日	91
6月20日	36
6月23日	18
7月1日	51
7月2日	11
7月3日	8
合計	790

以上